

FORTUNE

ウォルマート、Fortune Global 500 で 10 年連続首位を 獲得

日本企業の総売上高は 3 位もランクインは過去最低水準の 41 社に
トヨタは 13 位から 19 位にランクダウン

米フォーチュン誌が本日発表した 2023 年の Fortune Global 500 において、ウォルマートが 10 年連続首位を獲得。サウジアラムコが売上高では 2 位となるも、利益ではトップで Fortune Global 500 企業の年間総額最高を記録し、世界のエネルギー部門が主役に躍り出た。中国企業が 142 社、米国企業が 136 社リスト入りし上位 2 位を占める一方、日本企業のリスト入りは 41 社のみと最低水準だ。アマゾン、アップル、ユナイテッドヘルス、CVS ヘルスがフォーチュン誌の米国企業ランキングで上位にランクイン。米国は 2010 年以來で企業総収益最高額を達成、2023 年の国別でトップを占めている。女性 CEO 数は、2022 年の 24 人から 2023 年には 29 人に増加した。ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー、セールスフォース、ウーバー、ルフトハンザ航空、HD 現代、ダイムラートラック、CATL（コンテンポラリー・アンペレックス・テクノロジー）、美团、そしてカナディアン・ナチュラル・リソーシズなどの新エネルギー・天然資源企業が新規ランクインし、振り返いた。

米国ニューヨーク発（2023 年 8 月 2 日）－ 米フォーチュン誌は本日、2023 年の Fortune Global 500（™）ランキングで、米小売業ウォルマートが 2022 年会計年度の世界最大の企業ランキングの売上高でトップになったと発表した。権威あるフォーチュン誌最新の世界企業ランキングにおいて、アーカンソー州に本社を置くウォルマートが 10 年連続の、そして 1995 年以来 18 度目の首位を獲得した。今年 Fortune Global 500 にランクインする米国企業が急増するなかで、米国は国別でも最高額を達成しており、ウォルマートも 2010 年以来最高総額を達成した 136 社の 1 社としてランクインした。

サウジアラムコが小売りの巨人をその座からほとんど引きずり下ろすかのように、世界のエネルギー・セクターの強さが一目瞭然となった。サウジアラムコ（2 位）は、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー価格高騰の恩恵を受け、エクソンモービル（7 位）とシェル（9 位）は売上高トップ 10 に返り咲いた。利益では、サウジアラムコが 1590 億ドルを稼ぎ出し、Fortune Global 500 企業として過去最高の年間利益となった。

一方、ビッグ・テックもまた、堅調で収益性の高いセクターであることを証明した。アップル、アルファベット、マイクロソフトを合わせた純利益は 2330 億ドルで、アップル（8 位）は 1000 億ドル目前に迫る利益を上げ米国企業としては過去最高となった。今年の Fortune Global 500 には、新たに 39 社がランクインした。そのうち 23 社はワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー（449 位）などの初ラインクイン企業で、中国からは CATL（292 位）や美团（467 位）も初めてリスト入りした。また、コロンビアのエコペトル（397 位）、フランスのエア・リキード（488 位）などの 16 社が、少なくとも 1 年間のブランクを経てリストに返り咲いた。

地域別では、中国企業（香港を含む中国本土に台湾を加えた中華圏）が 142 社で今年の Fortune Global 500 のトップとなった。しかし、2022 年の米国企業 136 社の売上高は、中華圏の 11.7 兆ドルを上回り、13 兆ドルであった。アリババ（68 位）、テンセント（147 位）、京東（JD ドットコム）（52 位）といった消費者向け企業は、景気低迷、規制強化、中国本土におけるコロナによる入国規制の影響が長引き、収益に打撃を受けた。

2023 年 Fortune Global 500 トップ^o 10 リスト

1. ウォルマート（米国）
2. サウジアラムコ（サウジアラビア）
3. 中国国家電網（中国）
4. アマゾン・ドット・コム（米国）
5. 中国石油天然気集団（CNPC）（中国）
6. 中国石油化工集団（シノペック）（中国）
7. エクソンモービル（米国）
8. アップル（米国）
9. シェル（英国）
10. ユナイテッドヘルス・グループ（米国）



日本企業では、トヨタ自動車が 13 位から 19 位にランクダウンしたものの上位にランクインしているほか、その他の自動車や総合商社、通信、金融、エネルギー関連企業のランクインが目立つ。今年の Fortune Global 500 にランクインした日本企業は前年比 6 社減の 41 社で、これは過去最低水準の記録となった。1995 年には日本企業 148 社がランクインしていたが、2015 年には 54 社にまで減少。2015 年から 2023 年までの減少率は比較的緩やかになっている。なお、日本企業の総売上高は 2.8 兆ドルで、米国、中国に続く 3 位につけている。

中華圏に拠点を置く企業のランクインは、台湾を含めると 142 社で、10 年前の 95 社から増加している。142 社の内訳は、中国本土（香港を含む）の企業が 135 社、台湾の企業が 7 社である。今年ラインクインした米国の企業は 136 社で、中華圏の企業のランクイン数は 5 年連続で米国を上回った。一方で、中華圏企業の売上高は 11 兆 7000 億ドルで、米国を追う形となった。

中国の 4 大銀行である中国工商銀行（28 位）、中国建設銀行（29 位）、中国農業銀行（32 位）、中国銀行（49 位）は 2022 年に 1741 億ドルの利益を上げており、各銀行のバランスシート上の資産は少なくとも 4 兆ドルである。注目すべきは、Fortune Global 500 にランクインしている世界の 118 の政府系企業のうち、3 分の 2 以上が中国に拠点を置いている点だ。

サウジアラビアのサウジアラムコ（2 位）は同国からランクインした唯一の企業だが、同社は 1590 億ドルの利益を上げ Fortune Global 500 で最も収益性の高い企業となるなど、注目に値する。サウジアラムコの売上高は 6000 億ドルを超え、51%の伸びを示した。同社は過去 5 年間で 5130 億ドルの利益を得ている。またサウジアラビアは、オーストリア、コロンビア、ポーランド、タイなど、Fortune Global 500 のリスト入り企業が 1 社しかない 12 の国・地域の 1 つであることも特徴だ。

Fortune Global 500 企業の売上高の合計は前年比 8%増の 41 兆ドルで、世界の GDP の 3 分の 1 以上を占めている。累積利益は前年比 7%減の 2.9 兆ドルとなった。2023 年のリストに掲載された企業は、全世界で 7010 万人を雇用し、世界の 232 の都市と 33 の国・地域・地域に拠点を置いている。また、Fortune Global 500 企業の女性 CEO（最高経営責任者）の数は 29 人で、前年の 24 人から 5 人増加した。

Fortune Global 500 の全データは FORTUNE 誌 8 月号／9 月号に掲載されているほか、本日より <https://fortune.com/global500/2023> にてオンラインで入手可能です。完全なデータセットは <https://fortune.com/analytics> からご購入いただけます。

* フォーチュン誌は、Fortune Media IP Limited が発行しています。

フォーチュン誌の編集長 Alyson Shontell は同号において、今年のリストには「世界最大の企業でさえも、逆転や王座から転落する」というテーマが根底にあると述べている。

この 10 年間、世界最大の売上高を誇るウォルマートについても、Shontell は「警戒が必要だ」としている。ロシアのウクライナ侵攻が石油・ガス価格に与えた影響や、サウジアラビアの莫大な埋蔵量から安価に石油を生産できる能力などにより、サウジアラムコにとって大成功の年となった。しかし、サウジアラムコを支配するサウジアラビア政府は、その利益をグリーンテックの研究開発やその他の幅広い産業に投入している、と Shontell は指摘する。

Shontell は、フォーチュン誌のグローバル 500 特集号で、アルファベット（17 位）が生成 AI によって古典的イノベーターのジレンマに直面している点にもスポットライトを当てている。（フォーチュン誌の [ジェレミー・カーン](https://fortune.com/longform/google-ai-chatbots-bard-search-sge-advertising)（<https://fortune.com/longform/google-ai-chatbots-bard-search-sge-advertising>）が最新号で説明）「アルファベットの子会社であるグーグルは AI に多大な資金と専門知識を投入しているが、その革命的なテクノロジーは 2000 年代以降グーグルの収益を支えてきた検索ビジネスを脅かしている。アルファベットにとって一番の脅威は、ChatGPT の生みの親であるオープン AI と提携するマイクロソフト（30 位）だ」と Shontell は指摘する。

さらに「グーグルであれ、マイクロソフトであれ、メタ（81 位）であれ、あるいはまだ知られていないスタートアップであれ、生成 AI で最高のネズミ捕りを作るのが誰であろうと、世界が情報を検索する方法を一変させる可能性がある」と Shontell はコメント。

フォーチュン誌のリスト編集者 Scott DeCarlo は、「毎年恒例の世界大企業リストに名を連ねる企業は、2022 年に記録的な売上高を達成し一部では利益も伸ばした。しかし、技術革新や科学的ブレークスルーが既存のリーダーを脅かし新たな成功者を生みだしており、ビジネス成功の究極のスコアカードである Fortune Global 500 は決して不変ではない」と述べている。

企業は、2023 年 3 月 31 日以前に終了するそれぞれの会計年度の総売上高によってランク付けされる。リストに掲載されたすべての企業は、財務データを公表し、その数値の一部または全部を政府機関に報告する必要がある。リストに掲載されている最新の数値は各社が報告したものであり、比較する際は、前年当初に報告された数字を対象としている。フォーチュン は、企業側の会計上の変更について、前年の数値の修正再表示は行っていない。

フォーチュンについて

フォーチュン（FORTUNE）は、ビジネスをより良いものにしたいと願うエグゼクティブ向けに、受賞歴のある記事と信頼性のある報道を提供しています。独立系メディアであり、グローバルな視点とデジタルの機動性を備えたフォーチュンは、新世代のイノベーターやビルダー、リスクテイカーのストーリーを伝えています。フォーチュンはオンラインと紙媒体の両方で企業パフォーマンスを厳格な基準で測定し、企業の説明責任を追求しています。フォーチュンは、象徴的な Fortune 500、[CEO Initiative](https://fortune.com/conferences/the-fortune-ceo-initiative-2023)（<https://fortune.com/conferences/the-fortune-ceo-initiative-2023>）、Most Powerful Women といった重要で権威のあるリスト、イベント、会議を通じて、業界、商業、社会を形成する真のリーダーや象徴的な人物を集めコミュニティを形成しています。詳しくは fortune.com をご覧ください。

メディア問い合わせ先

Patrick Reilly PR@Fortune.com

ソース：FORTUNE Media